

2019年3月、天神ラボ開設しました



生化学的検査・血液学的検査・血清学的検査・A1c等健診検査などの基本項目を対象とし、常に精度の高い検査結果を速やかに報告いたします。

Contents

天神地区にサテライトラボを開設しました／② ワンポイントアドバイス／② 5S活動報告／③
お知らせ／④ ちょっとひと言！／④

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜一丁目6番9号 TEL 092-852-1506 FAX 092-852-1510
<http://www.city.fukuoka.med.or.jp/kensa/kensa.html> E-mail : fma@city.fukuoka.med.or.jp

検体検査をもっと便利に、もっと身近に。

2019年春
開設

天神 Laboratory

2019年春、福岡市医師会は新しいLaboratory『天神ラボラトリー』を開設しました。

地域でご開業されている先生方のさまざまな検査ニーズに、

“ご近所ラボ”ならではのメリットできめ細かくお応えします。

◎開設場所：福岡市中央区舞鶴2丁目5番1号

◎営業日：平日・土曜・日祝日（あいれふ休館日を除く）

◎集荷受付時間：9:00～14:00

（天神ラボ受付分、平日土曜につきましては14時以降も百道浜にて承ります）

◎お問い合わせ：福岡市医師会臨床検査センター 代表092-852-1506

◎実施項目：68項目（生化学検査・血液検査・尿一般検査）

◎結果報告時間：天神ラボ到着から60分以内

◎結果配信方法：FAXおよび電話（検査結果成績報告書は翌営業日）

ワンポイントアドバイス

尿素呼気試験

尿素呼気試験は内視鏡を必要としないヘリコバクター・ピロリ感染の有無を調べる試験です。簡便で感度、特異度も高く除菌後の判定にも信頼性が高い検査です。

検査薬（ ^{13}C でラベルした尿素）の服用前と服用後20分の呼気を採取して、含まれる $^{13}\text{CO}_2$ の変化から感染診断を行います。ヘリコバクター・ピロリがもつ酵素（ウレアーゼ）は胃の中で尿素を分解しアンモニアと二酸化炭素を生じます。生じた二酸化炭素は速やかに吸収され、血液から肺に移行し呼気中に炭酸ガスとして排出されます。ヘリコバクター・ピロリに感染している場合は、尿素が分解されるため呼気に $^{13}\text{CO}_2$ が多く排出され、感染していない場合は尿素が分解されないため呼気に $^{13}\text{CO}_2$ の排出がほとんど起こりません。

正確な測定のためには、正しい呼気の採取が必要です。

呼気採取方法のポイント

1. 呼気採取バックを口にくわえ、（鼻から）息を吸って5～10秒程息を止めてください
2. その後深呼吸せずに呼気採取バックにゆっくりと息を入れてください
3. 息止めが苦しい場合は2～3回に分けて入れても大丈夫です
4. 呼気採取バックには肺の中の息を入れるようにしてください

息止めをきちんと行うと呼気中の CO_2 濃度が高まり、より正確な測定ができます。

病理細胞診係

5S活動に取り組むにあたり、まず作業台の文具が目につきました。

扱う度にガチャガチャと必要なものを探し出す必要があったのですが、もう使えないボールペンや短い鉛筆といった不要なもの、使用頻度は低いのに複数個ある修正液など、広げてみると驚くほどの物品が入っていました。

「不要なモノを捨てる」ではなく「必要なモノだけ残す」という鉄則のもと、5Sのファーストステップの“整理”を実施したところ、実際に常設する必要があるものはわずか10点前後でした。

しかし、“整理”だけで終わってしまうと、心がけや呼びかけだけではどうしても不要なものがまた戻ってきてしまいます。そこで“整頓”として不要なモノを入れられない様に配置し、戻す場所を決めました。



整理整頓後



これらの整理整頓を施すことにより、不必要な手間を省き文具を探す無駄な時間を短縮することができました。今後も、5Sの手順に則って、より作業しやすい環境づくりに努めたいと思います。

福岡市医師会臨床検査センター学術講演会開催



「食中毒」をテーマに第40回臨床検査センター学術講演会を下記日程にて開催いたします。

腸管出血性大腸菌(EHEC)感染症は、HUSや脳症といった生死に関わる疾患を合併する3類感染症です。小児では特にリスクが高く、脳症に対する有効な治療法は確立されていないため、国内各地で多くの集団感染や孤発事例が毎年発生しており(約3000件)、海外の先進諸国でも大きな問題となっています。

そこで今回の講演は、九州大学大学院医学研究院 細菌学分野 教授 林 哲也 先生をお招きし、EHECの疫学的・臨床的な特徴を紹介するとともに、研究室での研究成果を中心に、EHECの遺伝的多様性やそれに伴う潜在的な病原性の多様性に関する現時点での知見を、わかりやすくご講演いただきます。

先生をはじめ、医療従事者の皆様方多数ご参加頂きますようご案内します。

参加ご希望の方は、臨床検査センター宛FAX(092-852-1510)にてお申し込みください。

第40回臨床検査センター学術講演会

◎日時 平成31年3月15日(金)19時

◎場所 福岡市医師会館 8階講堂

※駐車場に限りがありますので、公共交通機関のご利用をお願いします。

◎講演 ①「調理従事者の衛生管理」

城南区保健福祉センター衛生課 主査 福崎 睦美 氏

②「腸管出血性大腸菌不顕性感染の現状」

株式会社日本微生物研究所 取締役検査部長 佐藤 寿夫 氏

③「腸管出血性大腸菌とその感染症:特性と多様性」

九州大学大学院医学研究院 細菌学分野 教授 林 哲也 先生

◎座長 福岡市医師会共同利用施設運営委員会 委員長 安田 哲二郎 先生

◎主催 福岡市医師会 福岡市医師会臨床検査センター

日医生涯教育講座「1.5単位」

カリキュラムコード 8:感染対策

9:医療情報

54:便通異常(下痢・便秘)

ちよつと
ひと言!

「100年に1度の改正」

さて、何の改正かと言うと2019年1月1日より全世界でゴルフルール改正が行われました。目的は、ゴルフ人口を増やすためにプレーの時間短縮と複雑な規則を簡素化するためだそうです。1つ紹介しますと、グリーン上でピンを立てたままパットをしても良い(改正前は、2打罰) 実際にピンを立てたままやってみました。本当にルール改正でゴルフ人口が増えるのか疑問である?? 新しい事を始めると、どんな世界でも往々にして賛否両論がありますが、新ルールをマスターすればベストスコア更新もあるかも!!

微生物検査:植村

編集委員 山屋 雅彦 杉本 清美 小山田 雅一 佐竹 竜一 下田 敦史 松本 綾 田丸 幸